

白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046
山口市本町1-1-25
白石地域交流センター内
TEL 083-941-5959
FAX 083-941-5966



<https://y-shiraishi.net/>

携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!

2025年1月1日号 Vol. 138

鴻ノ峰山頂から望む日の出 (撮影/吉村哲明)



令和7年(2025年)年頭あいさつ



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
皆様におかれましては新たな希望のもとに新年をお迎えと存じます。
旧年中は皆様のご協力により各事業が順調に推移したことに對しまして心より感謝申し上げます。

さて、今年度は白石地区の第4次地域づくり計画策定の年となりました。策定委員の皆様アンケートをはじめとして5か年の課題と解決の為の事業について、大いに議論をいただき決定させていただきたいと考えております。そのためにも、第3次計画の総仕上げの年に当たり皆様の一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



会長 内山 清輝

参加者募集

第6回 チャレンジ健康づくり開催!!

身も心も血管も若返る明るく
楽しく欲張りなストレッチ講座&
健康食講座(食推コラボ)



澄川先生

- 日時 : 1月25日(土)
10:00~11:30
- 場所 : 白石地域交流センター講堂(2階)
- 内容 : ストレッチ講座(健康食弁当付き)
- 講師 : 澄川 絵里奈氏
- 申込先 : 白石地区地域づくり協議会
(TEL941-5959)
- 締切日 : 1月24日(金)

準備等 : 運動のできる服装と靴で
ご参加ください。
タオル・飲み物(水分補給用)を
ご持参ください。



ご報告

11/14

むかし遊び交流会を開催しました

白石小学校1年生と、ミドルからシニア世代の方々との多世代交流「むかし遊び」を行いました。

デジタルネイティブ世代の子どもたちが、全てアナログの「むかし遊び」に熱中している姿が印象的でした。(高橋 記)



お手玉



コマ回し



けん玉



あやとり



竹とんぼ



おはじき





伊藤 和貴 市長

初めに、伊藤市長の市政報告が行われ、続いて弊会会長・副会長・理事、および会員団体の長との意見交換がなされました。今年度は6つの懸案があり、以下は、それらの概要です。



田畑 副会長

懸案 1 五十鈴川川底張コンクリート改良工事について

白石地区地域づくり協議会 副会長 田畑 一夫

現在、白石地区在住・在勤・在学の地域ボランティア3世代で清掃を行っている。しかしながら、川底に密生した草木は大きく、チェーンソー等を使用した危険を伴う作業となっている。清掃活動が安全に実施することができるよう、また、河川氾濫から住民を守る為

にも川底の土壌撤去、コンクリート張りとするを要望する。
《回答》五十鈴川は、平成14年～25年にかけて県の砂防事業として整備が行われた。その後の維持は、市が行なっている。県に確認したところ、ゲンジボタルの生息地であることから河川環境に配慮した整備を行っているとのこと。市としては、地域のボランティア清掃で怪我をされてもいけないので、危険な作業は市が行う、あるいは業者委託で行うなど役割分担を行っていければと考えている。



藤本 会長

懸案 2 白石二丁目の危険箇所への防護柵設置について

白石地区母子保健推進協議会 会長 藤本 清乃

道路脇に深さ1m、幅1m、長さ12mほどの大きな溝がある場所がある。通行する児童・生徒や高齢者等の安全を確保するためにも、転落防止のための防護柵の設置をお願いしたい。

《回答》歩行者・自転車用の防護柵設置を検討中である。隣接している住居の方々にも内諾を得ており、できれば今年度中に設置したい。



松富 会長

懸案 3 通学路としての歩道の設置について

山口市立白石小学校PTA 会長 松富 洋志

歩行者と車両を完全に分離し、より安全な通学路となるよう、五十鈴川の小学校隣接側にある川土手部分に歩道の設置をお願いしたい。

《回答》県河川の堤防部分である為、加工承諾を得る必要がある。また、白石小学校の敷地が狭い為、歩道設置が他にどう影響するかも教育委員会と協議する必要がある。どちらの問題も解決できれば進めたいが、調整には時間が必要である。



内山 会長

懸案 4 山口駅通りの歩道整備について

白石地区地域づくり協議会 会長 内山 清輝

昨年度の移動市長室で県に要望する旨の回答があったが、現状、特に車いすやベビーカーでは非常に動きにくい状況にある。一日も早く歩きやすくしていただきたい。

《回答》山口駅から商店街、パークロードは、山口市の一つの顔となる道路と考えている。現在、できるだけ早くしっかりと行うために景観・整備について様々な協議を進めている。令和6年度中に方向性を決め、令和7年度には地域の方々等の意見を聞きながら道路整備計画案を県へ示す段取りである。計画が策定されれば令和8年度から事業着手となる。市としては、県と色々な協議を行うとともに担当部局の方にも状況を確認させる。



重見 会長

懸案 5 子育て世代の人口増加のための取り組みについて

白石地区自治会連合会 会長 重見 秀和

① 山口市全体の人口減少、白石地区においても児童数が減少している。白石地区では、地区運動会の実施、ちょうちんまつりでの飾り付けや願事短冊飾り等を実施している。市としては今後、子育て世代の人口増加及び定住に向けて、どのように取り組んでいかれるのか。

② 商店街から山口駅周辺のエリアには、古い家屋、狭い道路が多く、子育て世代が家を建て住める環境にない。白石地域の人口増加を目指し、長期的な視点で計画策定及び各種事業を推進してほしい。

《回答》

① 子育て支援の取り組みは、医療費の無償化や、保育料の無

償化等の水準を宇部市に合わせる取り組みを進めている。また、マンション住まいの若い方の住みやすさを向上させる取組として、EVカーシェアリング導入を優先的に実施している。

他に、脱炭素の計画で、電力会社を作り新庁舎への電力供給がうまくいけば、後に中心市街地に横展開、その電力の使用によるポイントの付与及び中心市街地で利用できるなど白石地域に住むことのインセンティブにつながる仕組みを議論中である。子育て世代に選ばれる街づくりに繋がるような取り組みをしていきたい。

② また、かなり古い建物も増えており、建物更新・空き家有効活用等を織り交ぜながら進めていく必要がある。商店街の魅力を高めていく必要性も感じている。幅員の狭い道路の解消等に向けて、善福寺地藏通りや相物小路線など地道に整備を進めている。



松富 理事

懸案 6 シェアサイクルについて

白石地区地域づくり協議会 理事 松富 洋志

より利便性を高めるため、白石地域交流センターの駐輪場にシェアサイクルポートを設置し

てほしい。
《回答》周辺にはコープやまぐちどうもん店にポートがある。他ポートとのバランスも含めて検討する。また、市としては自転車ポートが市民だけでなく来訪者の2次交通としての利用も大きなテーマであり、見て分かり易い場所であるかどうかとも考える必要がある、どの辺りが一番良いのか検討する。